

会報

<第511号>



発行日 平成28年1月25日
担当 富士市立岩松小学校
通級指導教室（特別支援）「ひまわり教室」
〒416-0909
富士市松岡850番地
TEL (0545) 61-0917
FAX (0545) 61-4997
教室直通TEL (0545) 62-1881

富士市立岩松小学校

～はじめに～

本校は、明治6年に「巖松舎」として開校し、創立142年を経た、大変伝統のある学校です。いつの時代でも、学区の中心となり心の支えとなってきました。

本校が建つ岩松地区は、北は岩本山と高原山にいだかれ、西は富士川、南は加島平野から駿河湾を望む、自然的環境に大変恵まれた静かな住宅地です。

岩松地区に住む人々は、代々富士川の河原の開墾や、岩本山山腹の開拓を行って現在のような豊かで恵まれた生活の基礎を築いてきました。また、質実剛健の気風をもち熱心に子弟の教育に当たり、すぐれた教育環境を築いてきました。長い間にわたって培われてきた地域の人々の精神が、現在の児童にも「かりがね魂」として引き継がれています。

～学校教育目標～

学校教育目標「みがき合い かがやく ～あのね と いいね～」
重点目標「あたたかい心で 聴こう 話そう」

学校だより「かりがね」No.2 より一部抜粋

新年度を迎えて

校長 仁藤 雅子

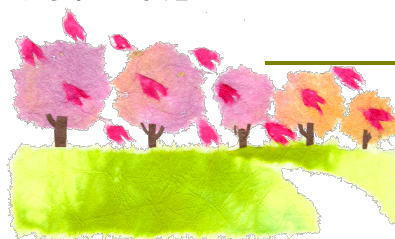


平成27年度が始まりました。お子さまのご入学、ご進級を心からお祝い申し上げます。今年度の新入生は87名です。全校児童493名でのスタートとなりました。

人は一人では生きていくことができません。他の人と共に、集団の中に生きていくことを実感することで、自分自身が生きる意味を見いだすことができるのだと思います。このように考えるとき、子どもが学校という社会において、友達と共に、「みがき合い」、自分の力を伸ばしたり発揮したりすることによって、「かがやく」経験を積み重ねられるようにすることが、未来を生きる子どもたちに必要な「生きる力」を育てていくことに結びつくのだと思います。「あのね」と自分から語りかけ、「いいね」と互いに認め合う姿を目指し、全職員が心を一つにして進んでいきます。

重点目標も、継続して『あたたかい心で 聴こう 話そう』といたしました。誰もが「あたたかい心で聴く・話すことができたね！」と言えるよう皆で取り組んでいきたいです。

そして、私たち大人も、子どもと共に「あたたかい心 あたたかい言葉」でつながる中で、「みがき合い」「かがやいて」いけたら素晴らしいと思います。ご家庭でも心がけていただきたいと思います。



指導内容の紹介



～指導形態・指導時間～

指導形態は、1対1の個別学習を基本としています。
 指導時間は、週1回、60分授業を行います。さらに、10～15分を目安に、保護者との簡単な情報交換や相談時間を設けており、お子さんの在籍校や家庭での様子をうかがうことで、困り感やニーズを把握し、タイムリーに指導に生かすことができます。

また、お子さんの実態や目標に合わせて、保護者や在籍校と相談の上、2～3人のペア学習、グループ学習も行っています。さらに、少人数による中集団学習も実施しています。(27年度は5回実施)

～指導内容～

- ☆コミュニケーションや行動面での苦手さがある
- ☆発達のアンバランスさがある

➡ 学校生活に適応し、より良く集団参加できるようにするために…

「自立活動」

- ・心理的な安定
- ・人間関係の形成
- ・コミュニケーションに関する指導

- ☆学習障害をもっている
- ☆通級等により、認知、行動面で改善が見られる

➡ 学校の授業に意欲的に参加できるように…

「必要な学習支援」

～個別学習（学習内容）の例～

Aさんの「今日の予定」

内容	ねらい	主な活動
準備	1 基本的な生活習慣の習得 2 視覚情報の理解	・挨拶、入室 ・下敷き、筆箱を取り出す ・入れ物はロッカーへ ・うがい、手洗い
始めの会	1 指示行動 2 活動の見通し 3 注意集中	・口の体操 ・日付の確認 ・予定を聞く
予定の確認	1 予定帳を分かりやすく書く	○明日の予定を確認 ・要点を押さえて書く練習をする (・脳書・視写)
サイコロトーク	1 自己理解・感情の表出 2 順序立てて分かりやすく話す	○サイコロを転がして、出た目に書かれているお題について話をする ・トークする ・質問に答える
めざせ1級！「聞きとりメモ検定」	1 ワーキングメモリ 2 コミュニケーションの基礎	○聞きとりメモ検定 ・検定の説明を聞く ・2級を行う
ゲームをしよう	※SST 1 ルールを守る 2 活動を楽しむ	・準備 ・ルールを確認する ・ゲームをする
フレンドシップアドベンチャー	☆書かれた指示には必ず従う ☆カードの質問には必ず答える	・カードの質問に答える ・相手の考えを聞く ・片付け
終わりの会	1 自己評価 2 表現力 3 視覚、聴覚記憶	・活動の振り返り ・発表 ・めあての評価・挨拶

Bさんの「今日の予定」

内容	ねらい	主な活動
準備	1 基本的な生活習慣の習得 2 視覚情報の理解	・挨拶、入室 ・下敷き、筆箱を取り出す ・入れ物はロッカーへ ・うがい、手洗い
始めの会	1 指示行動 2 活動の見通し 3 注意集中	・口の体操 ・日付の確認 ・予定を聞く
国語チャレンジ	◇読み取り 1 文章を読む 2 内容理解 ◇漢字にチャレンジ 1 漢字の読み 3年の漢字カード(下) 2 漢字を書く 1年生の漢字プリント	・音読する ・話の内容について、設問に答える ・分からない漢字は、カードの絵をヒントに読む ・分からない漢字は、ヒントから選んで書く
足りない物は何？(No.)	1 注視、視線の移動 2 注意集中 3 視覚情報の理解 4 短期記憶 5 表現力(話す)	・2枚の写真を見比べ、足りない物を5つ探す ・何がどう足りないかを説明する ・順番に5つを繰り返して言う
マス・スマート(わり算)	1 ルールを守る 2 視覚認知 3 計算練習 4 活動することを楽しむ	・一人5枚ずつカードを持つ ・つながるカードを出す ・出せるカードがないときは交換 ・手持ちのカードがなくなったら人が勝ち
算数チャレンジ	1 算数の基礎力	○在籍校で学習している単元についてフォロー
終わりの会	1 自己評価 2 表現力 3 視覚、聴覚記憶	・活動の振り返り ・発表 ・めあての評価・挨拶

おたより紹介

～教室だより「ひまわり」～



月に1回のペースで、教室だより「ひまわり」を発行し、保護者と、在籍学級の担任・特別支援コーディネーターの先生方にお配りしています。行事やお知らせの他、家庭や学級でのお子さんとの関わり方のヒントや、学習や運動などの練習方法のアドバイスなどを載せています。

過去のおたよりから、ほんの一部ですが紹介します。

ひまわり



「やりたくない」は「できない」のサイン

いろいろな場面で、お母さんや先生の「面倒がってやらないんですね。」とか「ついていけばできるのに、一人だとやらないんですね。」という声を聞きます。なぜ、やろうとしないのでしょうか？

「やりたくない。」という子に「どうしてやりたくないの？」と尋ねると、「面倒くさい！」という答えが返ってきます。「どうして面倒くさいの？」とさらに尋ねると、「どう書けばいいかわからない！」という答えが……。

確かに、文章を書くことが苦手な子は、「さあ、書きましょう。」と言われても困ってしまいます。

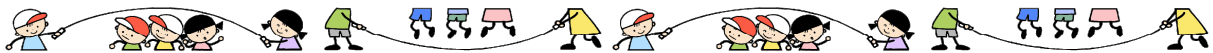
運筆が上手にできない子や、見て書き写すことが苦手な子は、難しい漢字を10回も書くことを負担に感じるでしょう。

気持ちを上手に表現できない子どもたちにとっては、「やりたくない」は「分からない」「できない」「負担感が大きい」等々の意味を含んだ精一杯の自己表現、SOSであることが多いと感じています。

また、自信がないことに尻込みしてしまう子も、とても多いです。

筑波大学の野呂先生も、「やらない」という問題（行動）の陰には、「できない」という問題（困難）が隠れていることが多いとおっしゃっていました。

ですから、「やりたくない」を単に「怠けている」と片付けてしまわずに、子どもの困り感を察して必要な支援をしていきたいと常々思っています。



縄跳び練習法紹介

持久走の次は縄跳びですね。苦手なお子さんもいると思いますが、今年は、ちょっと頑張ってみませんか？

さあ、やってみましょう



①ジャンプ

その場でジャンプができるかな。同じリズムで10回跳べるかな。

②ジャンプをしながら手首を回そう

手首が回せなかったら、向き合った大人の手のひらを、ジャンプに合わせて手の甲で打つようにします。このとき、大人の手は、子どもの縄跳びを回す位置がいいです。

手と足のリズムを合わせるのは難しいよ

③グリップだけの縄跳びを持ってジャンプ

できたら、普通の縄跳びを片手に持ってリズムを合わせて回します。右手、左手、両手で。古い縄跳びを真ん中で切って使ってもいいです。

慌てない 慌てない 大丈夫できるよ

④かけ足跳び

縄跳びを持たず、手首を回してその場かけ足をします。グリップだけを持ってもいいでしょう。縄跳びを持たずに、何度も跳びます。「エアー縄跳び」です。「エアー縄跳び」は手と足のリズムを合わせるのにとっても有効です。手と足のリズムが合ってきたら、縄跳びを使います。

エアー縄跳びも急がないでね

⑤あや跳び、交差跳び

縄跳びを持ってしまうと、体にくっつくような位置で手を交差できずに、かなり体から離れたところで×（交差）にならない交差をする子がほとんどです。それを防ぐために、ジャンプなしで、手を広げたり交差したりを、リズムに合わせて何度もやります。できたら、エアー縄跳びであや跳びをして、それでやっと縄跳びを使って跳ぶ練習です。

うまくいかないときは、もう一度エアー縄跳びに戻ろう

作品介绍



～みんなの作品コーナー～
季節ごとに、子どもたちの作品が
コーナーを飾ります。

1月のテーマは
「今年のめあて」



9月
～虫たちの季節～



10月
ハッピー
ハロウィン♪



12月
アイロンビーズで
クリスマス♪



折り紙や切り紙、ちぎり絵、アイロンビーズなど、楽しみながら、視覚機能や手指の巧緻性を高め、集中力を養うことをねらいとしています。個別学習で行うことが多いですが、中集団学習でみんなで作ることもあります。最近では、「今月の作品は何～？」と楽しみにしているお子さんも増え、うれしいです。

～終わりに～



岩松小は、ただいま新校舎を建設中！！
今は、通級指導教室もプレハブ校舎住まいで、プレイルームもありません。
4月には、新しい校舎で新年度のスタートができる予定です。
担当も子どもたちも、その日を心待ちにしています。